



園だより 7月号

Y M C A 保育園ねがい

2024年7月1日発行

「隣人を自分のように愛しなさい。」 マルコによる福音書12章31節

いちねん いちばんうっとう ふかいしすう たか きせつ きおん しつど じょうしょう おおあめなど しぜんさいがい
一年で一番鬱陶しい、不快指数の高い季節です。気温や湿度が上昇し、大雨等による自然災害も
おこる季節です。

この時期はストレスマネジメントも難しく、落ち着かなくなった人が起こす事件などが起きて
います。世田谷区でも、保育士による不適切な保育が事件になりました。園児に被害が及ぶほど平常
心を保てなくなっていった事に心が痛みます。

保育は「感情労働」だと言われています。保育園は人と人が共に育ち合い、気持ちを分かち合っ
て協働する場所だからです。本園では、職員会議で職員と虐待防止のための研修を毎年行っ
ています。昨年度は世田谷区のチェックリストを使用し、個人で評価したのちにグループで話し合
いました。自分が子どもの頃に大人にされて嫌だったこと、職場で負の感情が起こるのはどんな時か
など、異なる思いを共有し、気持ちが落ち着かない時に職員全員で協力することを確認しまし
た。今年も子どもの安全を守るため、研修を行います。ご家庭からのご協力もお願いいたしま
す。

明治の初め、聖書を翻訳した宣教師は「愛」を「大切」と訳しました。自分の事が二の次になっ
てしまいがちなのが子育て中。まず、自分の事を大切にしたいものです。うまくいかない事にぶつ
かる時に、思いや理想とかけ離れた現実に愕然とし、他の人と比べては自己嫌悪に陥る私です。
でも、うまくできなかった現実を受け入れたら、弱かった点は成長のための伸びしろとなります。
聖書には「大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。」「なぜなら、わたしは弱いときにこそ強い
からです。」とあります。どんな時も「大切」に「愛」してくれる方を信じ、そして、同じように自分
以外の人も大切にできたら、毎日が平和にすごせるのではないかと思います。（園長 今井世都）

6月のガーデニング ミニひまわり を植えました

